

ボランティアセンター 東日本大震災支援ニュース

2011年6月27日 No48

日本医療福祉生協連 近畿ブロック

発行担当 広島医療生協・屋敷

みやぎ県南医療生協 槻木事務所

連絡先 090-6056-8275

「家を直して、ここで生きていきたい！」

避難住民が復旧支援への希望を語る



↑ 打ち合わせ会議の組合員さんたち

山元町役場坂元支所避難所で暮らす山下地区の元住宅設備業のAさん夫妻を訪問して対話。「当初はもうここで暮らすのは無理と思ったが、近所の家を一軒一軒歩き、がんばろうや・・・と。町長にも常磐線の復旧も含めて掛け合い、町の復興にがんばるとの約束をもらった。ここでがんばって生きていきたいから応援を頼みます！」との話に、力になることを伝えました。

27日(月)朝はしばた協同クリニックで定例の震災支援対策打ち合わせ。昨日の仮設住宅での取り組みのまとめと今週末7月2日(土)の近畿からの数10人規模のボランティア来訪受け入れへ向けての打ち合わせをしました。引き続き仮設での健康チェックやお茶のサービスをすることも確認。ビラを配って知らせるなど「地元もがんばる！」とのこと。

そのあと山口健文会の吉村理事と広島医療生協組織部の屋敷とで被災の爪跡のひどい山元町の山下地区、坂元地区のその後の復旧の状況などを確認して廻りました。坂元駅周辺は根こそぎ津波にさらわれ見渡す限り焼け野が原のような痛々しい状況で、今だ復興どころか人が近づくのも難しい情景に呆然とするほどでした。



↑ 山元町営巡廻バス「ぐるりん号」避難所や仮設住宅と町役場を回ります！



山元町災害臨時FM放送局 → 『りんごラジオ』にも支援ニュースを届けています。



↑ 仮設住宅のプランターに花が！！
自然の営みは、絶えることなく永遠に生き続けます。
ガンバロウ東北、全国の仲間のところはひとつです！